

県PTA連合会、中学校長会の代表との意見交換での主な意見

学区	県PTA連合会の代表	中学校長会の代表
新川	<ul style="list-style-type: none"> ・泊、入善のどちらか一校は残してもらいたい。 ・両校が廃校となると、朝日町の生徒は魚津市・黒部市まで出なくてはいけない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通学距離や地域の交通事情等を十分に考慮し、生徒の選択肢が狭まらないように配慮してもらいたい。 ・現在の高校が築き上げてきた学科やコースの特性を再編後も引継ぎ、これまでと同様に、生徒の個性が活かせる特色ある学科やコースを継続してもらいたい。
富山	<ul style="list-style-type: none"> ・県全体のバランスをみて、高校の配置を中心部に固めず、子ども達の選択の幅が狭まらないように配慮してもらいたい。 ・専門コースのある学校が再編の対象となる場合は、受け皿となる学校を慎重に検討してもらいたい。 ・再編後は、高校教育をよりよいものにしてもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・普通科校どうし、職業科校どうしを統合する方が、保護者や生徒、学校等の理解が得られやすい。 ・新しい学科を創設する場合には、学区の変更、弾力化も考えてもらいたい。 ・複数校を再編する場合は、できるだけ同時期に実施してもらいたい。年度をまたぐと、入試指導に関して、変化に応じきれない可能性がある。
高岡	<ul style="list-style-type: none"> ・少子化に伴う生徒数の減少に鑑みると、高校を再編していく基本方針は概ね理解できる。 ・再編対象校を選定する際には、その学校でしか学べない科目や部活動があるなど、生徒目線で必要度の高い学校を存置してもらいたい。 ・再編後の姿は今よりもっと充実したものになるという、発展的な青写真を合わせて提示してもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学級数を減らして学校数を維持するより、学校数を減らして1学年5学級前後の学校に再編することが望ましい。 ・近い将来、再び再編問題が生じないよう、現在1歳の子どもの数を見越して再編してもらいたい。 ・再編対象校の特色ある学科やコース・部活動等を、新学校に引き継ぐよう配慮してもらいたい。
砺波	<ul style="list-style-type: none"> ・専門的な高校は地区に一つ残すなど配慮してもらいたい。 ・通学の問題で志望校に行けないことがないよう工夫してもらいたい。 ・それぞれの学校が歴史的に形成してきた伝統や卒業生のつながりが、再編で消えないよう工夫してもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通学の負担が少ない、地元感を大切にしたい再編にしたい。 ・普通科・職業科全体を通して、魅力ある学科やコース、カリキュラムを開設し、生徒にとって選択肢の多い再編となるようにしてもらいたい。 ・人も金もかけて、生徒、保護者はもちろん、地区や県民が希望の持てる再編にしたい。